福島県立あさか開成高等学校

主な活動場所：福島県郡山市

主な取組① WITH（一緒に）♥Enjoy♥ Take Actionを合言葉! 『ふくしまをエシカルな県にしよう!』

地球的課題であるカーボンニュートラル実現のため、課題を「自分事」として考え、行動しています。毎月17日(いいなの日)前後を「SDGs Day」として、一人ひとりが具体的に取り組むことができる行動を呼びかけたり、各委員会で取り組んでいるSDGs活動について、「SDGsアクション宣言」をしたりすることで学校全体で取り組んでいます。環境学習で福島県はごみ排出量が全国ワースト２位と知り、サーキュラーエコノミーの重要性も痛感しました。いわき市の「オーガニックコットン圃場」での畑作業(除草・支柱立て・収穫)と「古着倉庫」での仕分け作業を手伝っています。そして、自分たちに何ができるか考え、学校でも「エシカル消費啓発活動」「子ども服回収」「オーガニックコットン栽培」「ごみ減量のためのポスターや動画」「SDGs新聞・ポスター」「再利用型封筒のデザイン・制作」「寄付つきクッキー」の販売も行っています。みんなにやさしいエシカル活動が評価され令和６年度消費者表彰・内閣府特命担当大臣賞表彰を受賞しました。

【マイバッグを使おう♥ これもエシカル】

【オーガニックコットン収穫inいわき】
SDGs活動をリスペクト

【「ファッションと環境問題」
サーキュラーエコノミーを学ぶ】

【ふくしまエシカルクッキー2024】
「浜・中・会津」の魅力とおいしさを発信!!

主な取組② WITH（一緒に）♥社会と協働するローカルSDGs実践 福島ならではの『山の学校』・『水環境保全活動』プロジェクト

『山の学校』ではNPO団体（障がい者就労支援事業所）と環境研究者、さらに企業や地域の方々と高校生が一緒に、「よりよい社会」について学んでいます。「山の農園」や「コミュタン福島」を会場に、フィールドワークや講義により、里山や森林保全、気候変動などついて学び、「環境」・「平和」や「働くこと」についてのグループディスカッションから対話的に学びを深めています。

「時々先生・時々生徒」をコンセプトに高校生が「防災・減災」についての授業を行い、震災の記憶と教訓を発信しています。『猪苗代湖水環境保全活動』では多様な人との協働により、福島県の宝である「猪苗代湖」の課題を解決していく重要性、地域社会づくりに参画する必要性を実感し、猪苗代湖を守る活動・魅力を伝える普及啓発活動をしています。今年度はこの活動が評価され、ボランティア・スピリット・アワード・コミュニティ賞、東北・水すまし賞を受賞しました。持続可能で豊かなふくしまの実現に向けて、私たち高校生と一緒に活動しましょう! これからも様々な主体との協働の中で、新しい価値を創造していきます。

【「山の学校」高校生が先生
福島の今をみんなで学びます】

【「山の学校」フィールドワーク
災害時に備える水の浄化実験】

【「猪苗代湖水環境保全活動」
漂着水草回収】

【猪苗代湖をマモルンジャー】

〒963-8018 福島県郡山市桃見台15-1
【H P】https://asakakaisei-h.fcs.ed.jp/
【TEL】024-932-1714
【MAIL】asakakaisei-h@fcs.ed.jp（担当：国際部）